

水圏分子集積に基づくインターカレーション型二次元材料のボトムアップ合成



原野 幸治

物質・材料研究機構
主幹研究員

本研究では、気水界面を分子集積場とする水分子インターカレーション型 3nm 膜厚分子膜のボトムアップ合成という水圏材料構築手法を基盤として、従来のインターカレーション型材料の作製法とは異なる、分子集積に基づくインターカレーション型二次元材料の自在合成の実現を目指す。温和な合成条件、合成前後の構造制御、スケールアップ、大面積にわたる構造の均一性、自立や転写が可能な堅牢性と柔軟性という分子集合体材料としては特

異なる物性と、分子およびインターカレントの自在設計性を活かした機能性二次元材料の開発へと繋げる。

